

決壊箇所に対する出水期前の応急工事

二杉橋下流左岸



被災状況



応急仮工完了



応急工事完了

JR両毛線上流右岸



被災状況



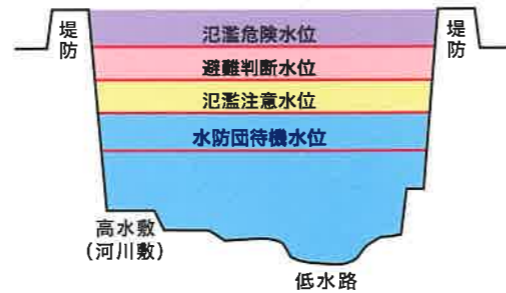
応急仮工完了



応急工事完了

コラム ～川の水と避難等の目安～

- 氾濫危険水位
市町の避難勧告等の発令の目安となる水位。
洪水により相当の家屋浸水等の被害を生じる氾濫の起こるおそれがある水位。
- 避難判断水位
市町の避難準備・高齢者等避難開始の発令の目安となる水位。
住民の氾濫に関する情報への注意喚起となる水位。
- 氾濫注意水位
災害発生を警戒すべき水位。
水防団の出動の目安となる水位。
- 水防団待機水位
水防団が出動するために待機する水位。



河川水位・雨量情報の電話による提供

- 24時間常に1時間毎に更新された河川水位・雨量情報を提供しています。
- 河川水位・雨量情報の順に情報が流れます。
- 1回の所要時間は約3分程度です。

栃木土木事務所管内
☎(0282)23-4424,4426,4427



リアルタイム雨量河川水位観測情報

- 県土整備部で観測している県内各地の「降雨状況」「雨量観測局からの情報」及び「河川水位状況」「河川水位観測局からの情報」等をリアルタイム(1時間毎に更新)で提供しています。

URL <http://www.dif.pref.tochigi.lg.jp>



● 永野川の改良復旧事業について

令和元年東日本台風(台風第19号)により被災した一級河川永野川について、国道50号から県道栃木佐野線までの約12kmの区間における改良復旧事業の概要とスケジュールの説明動画を栃木県(河川課)のホームページで配信しています。

※ホームページURL: <http://www.pref.tochigi.lg.jp/h55/documents/naganogawa.html>

※携帯電話をお持ちの方は、右記の読み取り用バーコードを携帯電話で読み取ることで、ホームページをご覧になることができます。



令和元年東日本台風(台風第19号)

利根川水系

永野川

災害復旧助成事業

決壊状況(栃木市大平町下皆川)
—JR両毛線橋梁—



諏訪橋流失状況(栃木市大平町蔵井)

栃木県 栃木土木事務所(下都賀庁舎)

〒328-8504 栃木市神田町6-6 下都賀庁舎
TEL:0282-23-3434(整備部) FAX:0282-23-3544
E-mail: tochigi-dj@pref.tochigi.lg.jp

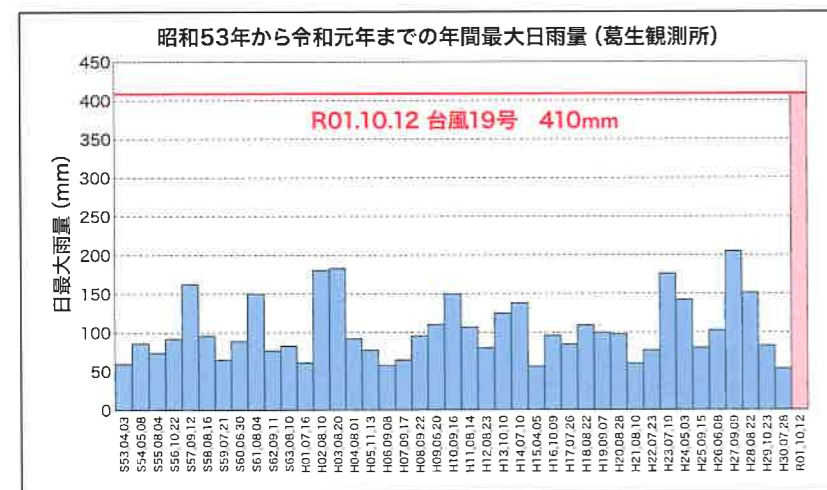
栃木県 栃木土木事務所

令和元年東日本台風（台風第19号）による降雨状況

■降雨状況

台風第19号に伴う豪雨により、栃木県では広範囲にわたり大雨特別警報が発表されるなど記録的な大雨となりました。

永野川流域内の栃木雨量観測所では、日雨量298mm、流域近傍の葛生雨量観測所で日雨量410mmを観測しました。



■河川名：一級河川利根川水系永野川

■市町村名：栃木県栃木市、小山市、鹿沼市

■流域面積：172km²

■県管理区間河川延長：26.0km

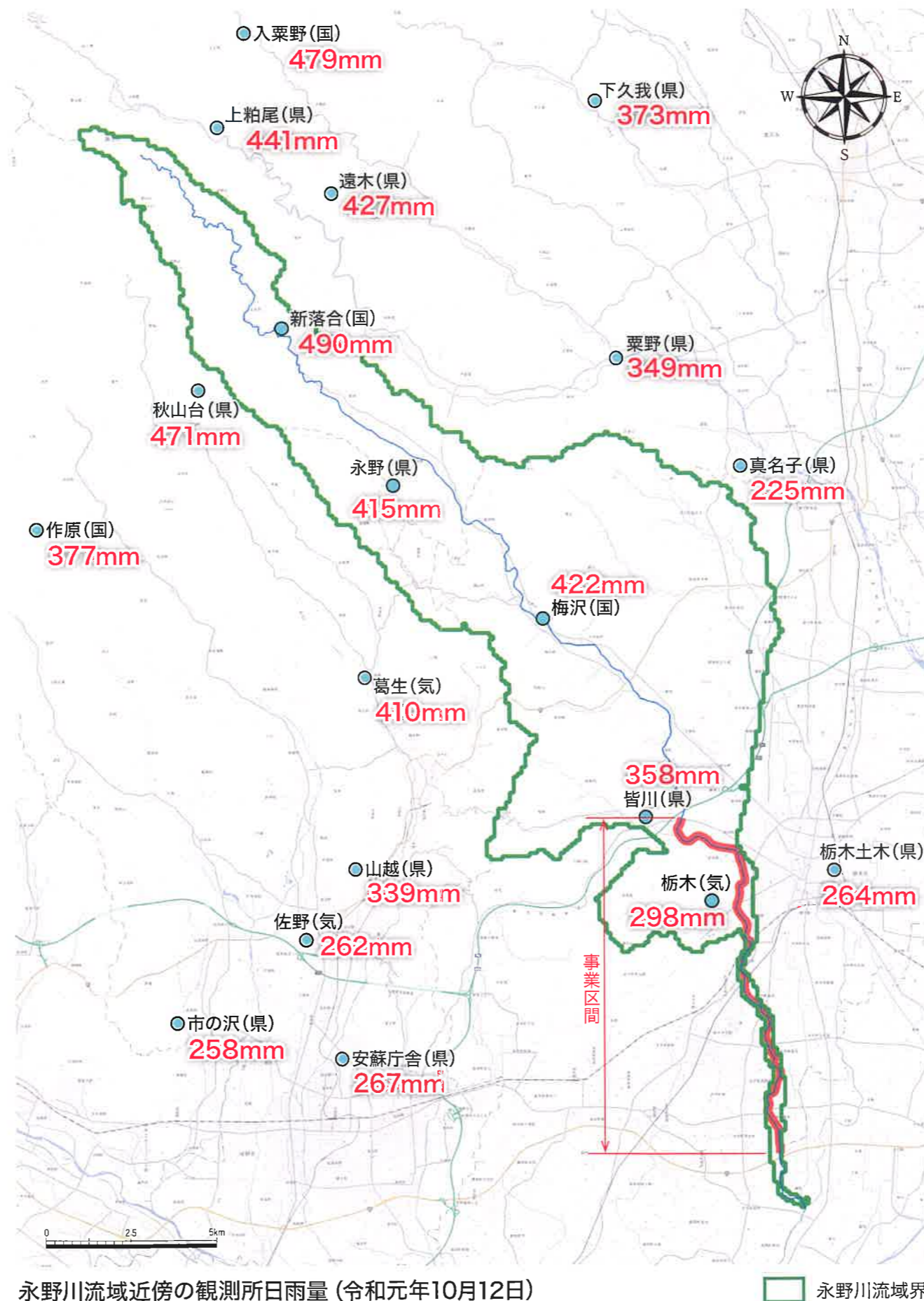
■河床勾配：1/260～1/610程度

■流域の概要

永野川は栃木県鹿沼市上永野に源を発し、出流川、藤川、赤津川を合流して栃木市街地を流下し巴波川に合流する流路延長26.0km、流域面積172km²の一級河川です。

【位置図】

栃木県栃木市
利根川水系永野川



■山下橋

出水時 (令和元年10月13日11時30分)



平常時



永野川 令和元年東日本台風(台風第19号)による被害状況

■被害状況

台風第19号に伴う豪雨により、栃木県では広範囲にわたり大雨特別警報が発表されるなど記録的な大雨となりました。

特に被災の大きかった永野川の市街地区間では、5箇所の決壊により甚大な被害が発生しました。

浸水面積	床上浸水	床下浸水
約934ha	2,774戸以上	2,390戸以上
	合計5,164戸以上	

栃木市集計(令和元年11月時点)



決壊箇所(上人橋止流左岸・栃木市泉川町)



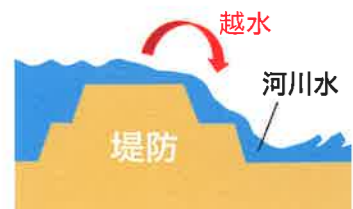
浸水状況(県道栃木環状線(栃木市函部町2丁目))



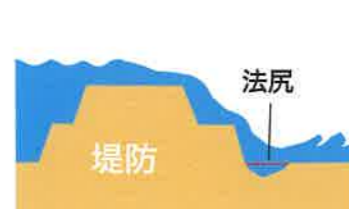
浸水状況(県道栃木藤岡線(栃木市大平町富田))

■被災メカニズム(越水による決壊)

① 河川の水が堤防を越える



② 堤防が浸食を受ける



③ 堤防浸食により堤防決壊に至る



2019年10月14日(月) 下野新聞
3 社 会 2019年(令和元年)10月14日

栃木市内 3河川で氾濫相次ぐ 浄水場被災、断水も

栃木市では12日夜、永野川の堤防が決壊したり、赤津川、巴波川が氾濫したりして、13日未明にかけ濁流が家屋や店舗などを襲った。「自宅1階で首近くまで水位が上がった」と振り返る住民もおり、緊迫の一夜を過ごした。

同市によると、永野川の堤防が決壊で、県道栃木環状線などが川のような状態となった。市中心部周辺や旧大平町など広範囲が冠水し、立ち往生する車も相次

栃木市では12日夜、永野川の堤防が決壊したり、赤津川、巴波川が氾濫したりして、13日未明にかけ濁流が家屋や店舗などを襲った。「自宅1階で首近くまで水位が上がった」と振り返る住民もおり、緊迫の一夜を過ごした。

同市によると、永野川の堤防が決壊で、県道栃木環状線などが川のような状態となった。市中心部周辺や旧大平町など広範囲が冠水し、立ち往生する車も相次

浄水場にも水が押し寄せ、水質検査箇所が断水した。同日午後4時現在、関部町4丁目、平井町、藤岡町甲、藤岡町乙が断水中。同市は自衛隊に給水を要請し、栃木農業高前などに給水車が配置された。14日には断水の範囲が狭まる予定という。

このほか、赤津川と永野川の計3カ所の橋が落ちた。自宅が床下浸水した同市万町NPO法人代表大塚幸二さん(70)は「4年前の関東・東北豪雨と違い、雨がやんだ後もとてんこ水位が上がった。恐怖を感じた。またいつ起きるのかと考えると不安だ」と話した。

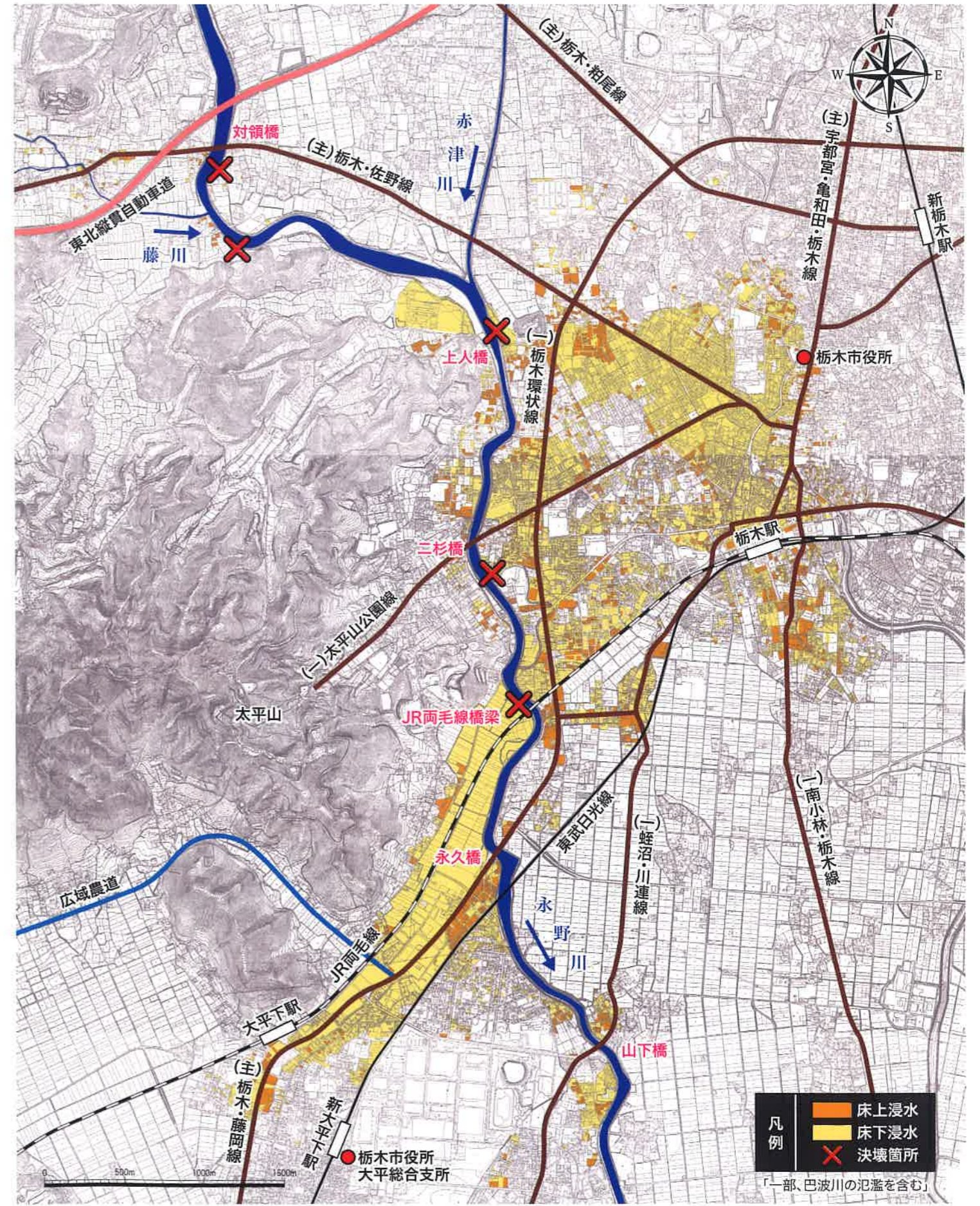


両毛線の鉄道橋倒壊

JR東日本は13日、台風19号の影響で栃木市大平町(昔川)と同市片柳町4丁目の境にある両毛線大平下駅-栃木駅間の鉄道橋が倒壊したと発表した。復旧のめどは立っておらず、運転再開に時間がかかる見込みという。

大平下-栃木 復旧めど立たず

JR東日本高崎支社によると、橋は同日未明に堤防が決壊した永野川に架かっており、川の増水と土砂崩れを受ける河川敷が崩れたという。同日未明には、橋に流木などがぶつかっている状態も確認された。



出典：栃木市浸水実績マップ

永野川災害復旧助成事業の概要

■事業概要

令和元年東日本台風（台風第19号）に伴う豪雨出水により一級河川利根川水系永野川（栃木県栃木市）では越水による家屋の浸水や堤防決壊、護岸崩壊、橋梁等の損傷といった甚大な被害が発生しました。

このため栃木県では、特に被害の大きかった主要地方道栃木佐野線から下流の国道50号までの約12kmの区間のうち、一部を除く延長10.6kmにおいて「災害復旧助成事業」を国へ申請し、採択されました。この区間において、今回と同程度の洪水に対して浸水被害を解消するために、河道掘削、護岸、堤防嵩上げ、橋梁架け替え等を緊急的・集中的に実施します。

■災害復旧助成事業

概要

事業箇所：栃木市
 事業延長：10.6km
 事業費：約192億円
 工事内容：河道掘削、護岸、堤防嵩上げ、橋梁、堰等
 事業期間：令和元年～令和5年（予定）

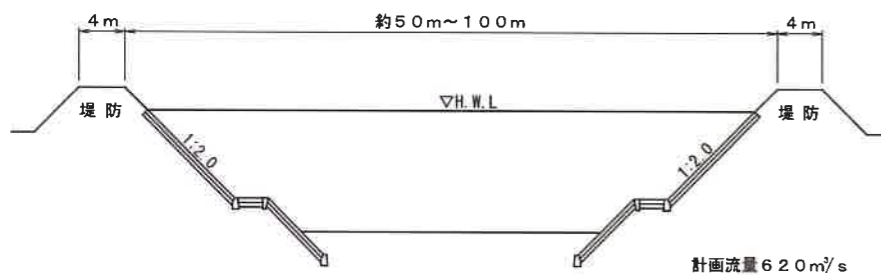
※災害復旧助成事業
 被害が激甚であり、原形復旧のみでは十分な効果が期待できない場合に、一定の改良計画に基づき改良復旧を実施し、再度災害の防止を図るもの。

■旧千部橋（架替）千部橋に統合

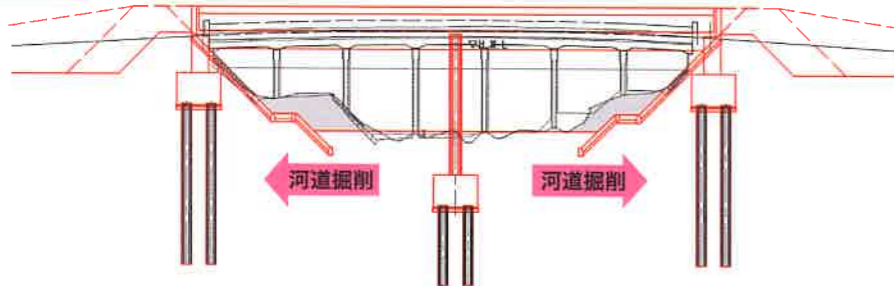
■千部橋（架替）



標準断面図



橋梁架替



■諏訪橋（架替）



■新西野田堰（改築）



■JR両毛線橋梁（架替）

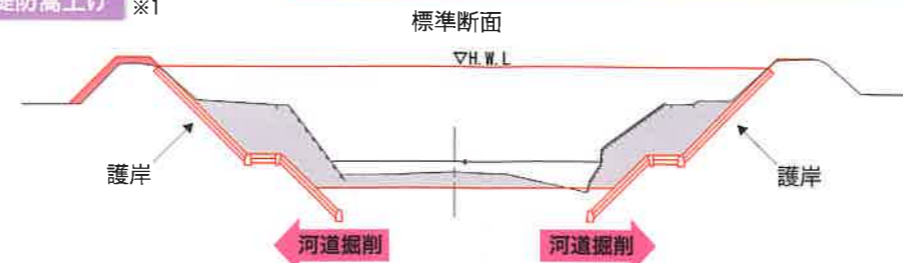


■二杉堰（改築）



河道掘削や堤防嵩上げ、橋梁架替等により、令和元年東日本台風と同規模の洪水に対し、浸水被害を解消する

堤防嵩上げ ※1



橋梁架替

